

学長・薬学部長に聞く

薬学部での学びと 6年制卒 薬剤師への期待

中四国九州エリアの学長・薬学部長11名に
各大学の薬学教育の特徴や超高齢社会における
薬局・ドラッグストアでの
6年制卒薬剤師の役割などについて
お話をいただきました。

長崎	佐賀	福岡	山口	島根	鳥取
		大分	広島	岡山	
		熊本			
		宮崎			
		鹿児島	愛媛	香川	
			高知	徳島	

MISSION IN LIFE 誌 特別号

MIL

any creative

「薬学」を学ぶ意義と
薬学部での学びと
6年制卒薬剤師への期待

「薬学」を学ぶ意義と
薬学部での学びと
6年制卒薬剤師への期待

医療への貢献、医療人との連携で
地域貢献を果たす
薬局・ドラッグストアへ



◎ 薬学部での学びと6年制卒薬剤師への期待

崇城大学

熊本県熊本市西区

地域住民の健康を守るキーパーソンとして活躍を!!

薬剤師は地域住民から薬や健康について相談され、信頼される身近な存在であるべきです。特に、調剤に加え、ジェネリック医薬品、OTC薬、サプリメントなどを扱う薬局やドラッグストアは、地域住民の健康を守る中心的役割を担っています。そこに勤務する薬剤師には、薬学部で学んだ幅広い知識に加え、来局者の状態を把握して、薬やサプリメントの選択、受診勧奨等につながるようなサイエンスに基づいた確かな対応が望まれます。このため、本学では臨床経験豊富な医師によるバイタルサインの測定実習を取り入れ、フィジカルアセスメント等の即戦力となる臨床能力の向上に努めています。

来るべき超高齢社会に向けて、薬剤師は常に自己研鑽に努め、住民の健康ケアのキーパーソンとして、窓口での業務に加え、他職種と連携して在宅医療等の地域医療に貢献されることを期待します。

本学は、基礎的人間力（体力、気力、知力）と倫理感を身につけ、問題解決能力や国際化・情報化へ対応できる能力を育み、医療現場において薬のスペシャリストとして信頼される薬剤師の育成を目指しています。薬剤師免許取得を第一義とし、開学以来、薬剤師国家試験では高い合格率を収めています。また本学では、教育のみならず研究とのバランスの取れたプログラムのもと、サイエンスを理解できる薬剤師の養成に努めています。すなわち、学び、自ら考えて、創造し、行動する、知恵を使う薬剤師を育成します。



薬学部長
小田切優樹氏